

寄居ボルダー再訪

2018.3.9 rctK

岩雪 169 号に紹介されたエリアで、当時ぶらっと出かけて登ったことがあるが、その時のトライ状況などの記憶は定かではない。今年は長野の実家に帰る必要はなくなったので、ギックリ腰が順調に回復してきたこともあり、真面目にクライミングに取り組もうと思っていたら、事情あって急遽実家に帰省することになってしまった。結局 1 月から 3 月初めまで、数日の帰京を挟んで実家で過ごすことになってしまったが、その往復時にちょっと時間を割いて寄居ボルダーに立ち寄ってみた。

駐車スペースに車を置き、トポを頼りにボルダーに向かう。八正道岩で適当にトライしてみた後、ビッグボルダー周辺で既成の課題をトライする。その後、トポに無いリトルボルダーの北側にある岩をトライしたりしたが、短時間ではあったが、充実した時間を過ごすことができた。トポに記載されていない課題なども登ったので、既に登られている可能性は高いが、ちょっとここに紹介してみたい。

なお、各ボルダーの状況が、岩雪掲載時から大分変化しているようで、何年も前からとは思われ、皆さんは知っているとは思われるが、以下に簡単に報告しておこうと思う。

○タヌキ岩：一番下流のタヌキ岩は八正道岩から少し離れた位置にありあまりボルダラーは行かないかもしれないが、現在、タヌキの腹の面が大分砂で 50cm 程？埋まってしまう、面白味がなくなっている。サイドや裏の課題はまだ健在だが、周りが大分荒れてしまっている。

○桃割岩：課題「桃太郎」のある岩は大きく 3 つに割れており、課題が消滅している。「ひかり」と「のぞみ」の課題がある岩は健在である。大きな割れ目間は取り付きが水没している。

○ピラミッドロック&ミノロック：取付きの土砂が流された感があるが、各課題は登れそうである。

○八正道岩：「正思」「正命」「正進」の各課題の取り付きは水没している。

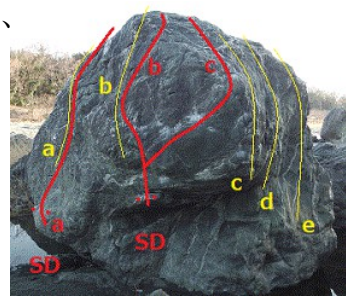
○ビッグボルダー：「ロングセラー」の最下部の人工ホールドが数個なくなっている。西面(リトルボルダー側)のスラブは、取付きが下がり前傾フェイスからのスタートになっており、極度に難しくなっている。昔登った記憶があるが、倒木を利用したのか、下地が高かったからか記憶が曖昧である。また「ミルク」から「プロジェクト」間の課題のライン取りが良く分からない。なお今回、南西にあるガバっぽいカンテを SD で登ってみたが、そのラインはトポに記載なし。

○リトルボルダー：大きな変化は無いようだ。ビッグボルダー側のフェイス下の土砂を少し除けたが、課題が混雑してトポだけではラインが分からない。

《未記載課題紹介》

●八正道岩

写真：「正見」のあるハングで細黄色ライン(a:正念、b:正定、c:正見、d:正語、e:正思)がトポに記載のあるもの。赤が未記載のライン。



下地が安定している北面のハング周辺で何本かトライしてみる。

まず、ハング左下に薄っすらとチョークのついたホールドがあったので、SD で直上気味のライン(赤 b 正定の SD?)と、ハング上を右上し、「正見」のガバにデッドするライン(赤 c)を登ってみる。赤 c のラインはムーヴ的に面白かったので、一応仮称で「道諦(どうたい)」と命名してみた。この 2 本はスタートホールドにチョークが付いていたので登られている可能性がある。

次に、「正念」の SD(赤 a)をトライしてみる。見た目ほど難しくはなくハング上に立ちこむのが核心。

最後に、昔登った「正見」をトライしてみるが、核心のカチの小ホールドが痛くてあっさり敗退。無理せずビッグボルダー周辺に移動する。

●無名岩(リトルボルダールの北側にある岩 仮称:水天岩)

写真:無名岩の南面

ビッグボルダールやリトルボルダールを少しトライした後、トポにないリトルボルダールの北側にあるボルダールをトライしてみた。

南面下は水溜りになっており、周囲に転がっていた石ころで取り付け部分を埋め赤ラインをSDトライできるようにしたところ、難しくはないが意外と面白い課題となった。スタートは左手はアンダー気味のホールドをピンチ、右手は斜めのフレーク状ガバでスタートし、穴状ホールドを使って左上に抜ける。取り敢えず、仮称で「水天」としてみた。

水色ラインは帰京してからYouTubeを見ていたら登っている動画がアップされていたので、既に登られている。赤ラインは取り付けが水溜りだったので、どうか分からないが、黄色ラインも登られている可能性がある。

